

佐野ふるさと特使に、永濱利廣さん

ながはまとしひろ

佐野ふるさと特使に、エコノミスト（経済の専門家）の永濱利廣さんが就任しました。

市では「佐野の魅力・よさ・実力」などを、市の内外へ広く発信してくださる方を特使として委嘱しています。

永濱さんは県立佐野高等学校出身。現在、㈱第一生命経済研究所の主席エコノミストであり、国の経済財政諮問会議政策コメンテーターを務めるほか、経済に関するさまざまな著書を執筆し、テレビ番組出演や全国各地の講演など、日本のトップエコノミストとして大活躍をされています。

就任にあたり永濱さんは「佐野市を第2の故郷と思っています。これから佐野市の良さをどんどん発信していきます」と話してくれました。



地域おこし協力隊員に、平石栄子さん

ひらいしえいこ

town Topics
まちの話題



7月1日、佐野市における地域おこし協力隊員の第1号として、平石栄子さんが就任しました。

平石さんは最近まで都内に住んでいた28歳。秋山町に住所を移したうえで、地域の中で生活し、秋山地区の地域おこしを目的に、さまざまな活動に取り組みます。平石さんは「地元の方が知る秋山の良さ、外から来た者だから気づく秋山の良さ、それぞれを共有し、伸ばしていく手伝いをしていきたい」と抱負を話しました。

第11回老人クラブスポーツ大会



7月2日、田沼グリーンスポーツセンターで、第11回佐野市老人クラブスポーツ大会・国民健康保険事業健康づくりスポーツ大会が開催されました。

この大会は高齢者の健康保持と、老人クラブ会員の親睦を図ることを目的に行われており、60歳以上の方々約380人が参加しました。

競技は、グラウンドゴルフ、ペタンク、輪投げの3つで行われ、それぞれ、内堀米いきいきクラブA、上富士町長寿会、赤見大門楽々会が優勝しました。

コカ・コーライーストジャパン㈱と防災協定を締結しました



7月1日、コカ・コーライーストジャパン㈱佐野支店と佐野市は、地震などの災害の際、市の要請に応じて同社が飲料を無償提供する災害協定を締結しました。

この協定では、災害時、市内の運動施設などに設置された自動販売機より飲料水を無償提供していただけることも盛り込まれ、さらに一部の施設には、停電時にも利用できる小型の発電機を設置していただきました。

なお、協定締結に先駆け、設置されたすべての自動販売機には「さのまるがスポーツをするステッカー」が貼られ、その売り上げの一部は、佐野市の「スポーツ立市」施策への寄附金として寄贈されることとなりました。



さのまるが結婚式に出演



7月4日、さのまるが市内の式場での川崎家・廣田家の結婚式に招待されました。

これは今年6月から結婚式にさのまるの出演が可能になってから初めてのもので、新郎：直人さん・新婦：めぐみさんのお色直し後の再登場の際、おふたりとともに各テーブルをラウンドし、出席者の皆さんとともに、幸せなおふたりをお祝いしました。

さのまるの結婚式の出演には一定の条件があります。詳細は、さのまるの公式ホームページをご確認ください。



「引揚救助」部門で3連覇達成



6月24日に行われた「第41回栃木県消防救助技術大会」引揚救助の部で、佐野市消防本部チームが見事に3連覇を達成しました。

この部門での3連覇は県内初の快挙。キャプテンの小野寺副士長は「プレッシャーの中、3連覇を果たせた。今後も訓練に精進し、関東大会を突破し、全国大会に出場したい」と話していました。



三好地区で防災訓練が実施されました

6月21日、三好地区で、土砂災害を想定した防災訓練が行われました。

訓練は「集中豪雨によりがけ崩れが発生した」という想定で行われ、防災行政無線を通して「避難勧告」が発令されると、避難所である三好生活改善センターに、約110人の住民が避難しました。

避難後にはAED（自動体外式除細動器）や消火器の体験実習を実施。消防署職員や女性消防団員の指示を受けながら、真剣に取り組んでいました。

訓練に参加した向田守男さん（三好地区町会長協議会会長）は「三好地区では昨年も土砂被害がありました。こうした訓練を行うことで、万一の際にどう避難するのか確認できて、大変良かったです」と話していました。

皆さんも、家庭での備蓄や避難所の確認など、事前の備えをお願いします。

